

身体に満ちあふれる感動 ありがとう

定期演奏会を聞いて M.T

舞台からうたごえが流れると、懐かしく、楽しく、うれしく・・・あらゆる感情が体中に押し寄せて、身体全体が感動に満ちあふれてきました。なぜか目に涙があふれ、私の頭の中にはこれまでの生き様が走馬燈のように廻りました。

若かりし頃うたごえ運動と出会い、訳も分からずに私は毎日毎晩街のどこかで歌っていた。歌って楽しさだけが残っているのが今思えば不思議な青春であった。何を求め何とたたかっていたのか、そして、なにをしようとしていたのか。とにかく何処に行っても笑って話せる仲間がたくさんいた。私も身近には、三池闘争、安保闘争、ベトナムや沖縄の闘い、国鉄民営化など日本中おおきな闘いが渦巻いていたのだ。うたごえがその闘いと共にあったことが知らずの内に自分の生き方の糧になっていたのかと、いま改めてかみしめている。

国鉄合唱団の演奏はすばらしかった。音楽的調べはもちろんだが、歌う人々の気持ち、何かを伝えようとしているかが実感できた。リアリティーのある言葉は心に落ちる。あまりにも真つ当な詩・言葉に怒りがわきあがる。まさに、うたごえの力を今さらのように知ったように思う。

現在の惨憺たる日本の状況がおもく心にのしかかる。しかし、沈む心を次々と引き揚げてくれる素晴らしいプログラムであった。

ソロの佐藤朋子さんは息子の同級生、まだ高校生であった太田真季さん、ピアノ演奏者の関さんは中学校のクラスメイトの息子さんでびっくり、大間原発訴訟の会長竹田とし子さんはかつてヨーガ教室で一緒、そしていつも顔を合わせる仲間達の明るく生き生きとした姿が見られて本当にうれしい音楽会であった。

私は「今を生きる」という言葉が好きです。歳のせいにして、無為に過ごしている自分に真摯に今を生きなければという大事なものをもらった。ありがとう。

(2018.9.25.函館版 平和新聞より)

・・・Tea Time・・・

昭和小で、子どもたちと一緒に歌う！

合唱団が毎週金曜日に音楽室を利用させてもらっている縁で、10月30日(火)

小学校に招かれた。初め、団員24名で「ビリーブ」他4曲を終わりに、5年生84人と一緒に「いのちの歌」を歌った。

子どもたちの真剣なまなざしを受けた。

団員としてこの上ない喜びとなっている。

聴いてくれてありがとう



これからの日程

* うたごえ運動 70 周年記念日本のうたごえ祭典

2019, 1月18日(金)~20日(日) 川崎市とどろきアリーナ